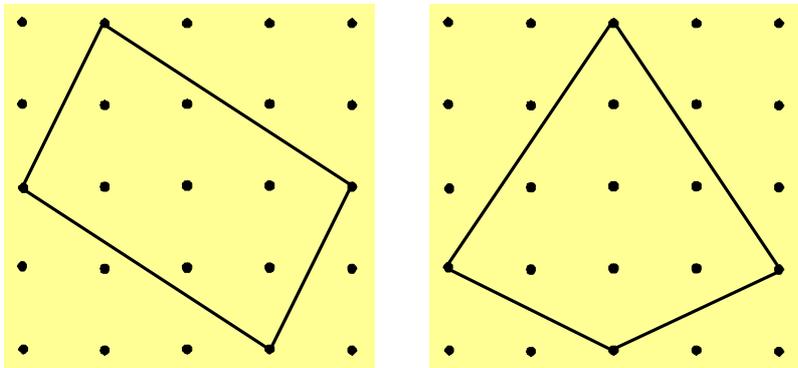
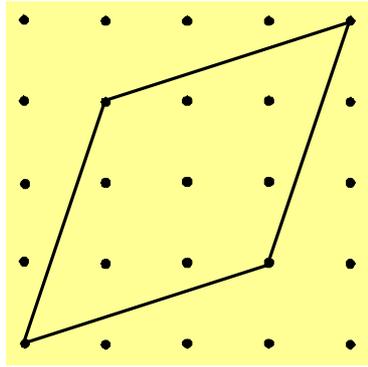


【平成24年度 適性検査Ⅱ 解答例】(古佐田丘中学校)

<p><b>研究 1</b></p>	<p>課題</p>	<p>(例)</p> <p>次に、この表を見てください。これは、保健委員会で調べたけがの原因を、心の状態や体の調子といった人の行動と環境に分けてまとめたものです。AさんやBさんの話にもあったように、「あわてていた」「ほかのことに気をとられていた」「整理・整頓がされていなかった」ときに、けがが起こっています。このような状態にならないように気をつけなければなりません。</p> <p>では、この絵の場面で、どのようなことに気をつければよいか、考えてみましょう。友達によばれて、あわてて教室を飛び出そうとしている人がいます。向こうから、本を読みながら歩いてくる人がいます。どちらも相手に気づいていません。このようなときけがが起こりやすいです。ろう下に出るときやろうかを歩くときは、だれかが急に飛び出してくるかもしれないと思って、気をつけて行動することが大切です。</p>
<p><b>研究 2</b></p>	<p>課題 1</p>	<p>(例)</p> <p>容器に入れて閉じこめた水は、おし縮めようとしてもその体積は変わらないから。</p>
	<p>課題 2</p>	<p>(例)</p> <p>資料 1 から、紅しょうがは、ムラサキキャベツのしるで着色されていること、資料 2～4 から、ムラサキキャベツのしるは、酸性の食酢によって赤色に、アルカリ性のたまごによって緑色か黄色に変化することがわかる。紅しょうがの赤色は、酸性の食酢によってムラサキキャベツのしるの色が変化したものであり、紅しょうがの色が赤色から緑色に変わったのは、アルカリ性のたまごによってムラサキキャベツのしるの色が変化したからである。</p>
<p><b>研究 3</b></p>	<p>課題 1</p>	<p>(例)</p> 



研究 4

課題 1

1人でつった魚の数(ひき)	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
人数(人)	1	1	0	4	2	3	1	4	3	3	1	0	2

課題 2

(例)

あきらの魚

50cmのきよりからさつえいした長さ36cmのおもちゃは、9 cmに写るので、

$36 \div 9 = 4$  だから、写った長さの4倍が実際の長さになる。  
写真に写ったあきらの魚の長さは8.5cmなので、 $8.5 \times 4 = 34$  (cm)

みどりの魚

みどりの魚を50cmのきよりからさつえいしたと考える。

30cmのきよりからさつえいしたみどりの魚は13cmであり、写ったものの長さはさつえいしたきよりに反比例するので、

$$30 \times 13 = 390 \quad 390 \div 50 = \frac{39}{5}$$

50cmのきよりからみどりの魚を写すと  $\frac{39}{5}$  cmになる。

実際の長さはその4倍だから、 $\frac{39}{5} \times 4 = \frac{156}{5} = 31.2$  (cm)

差  $34 - 31.2 = 2.8$  (cm)

(あきら)さんのつった魚のほうが(2.8) cm長い